

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 支援-19

学校名・団体名	朝日町立朝日中学校
HPアドレス	なし
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	私たちは忘れない ～仮設住宅の方々との心の交流をとおして～
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>東日本大震災で被災し、宮城県石巻市内の仮設住宅で生活する宮城県女川町の方々との交流を図り、被災住民に対しての精神的な援助を図るとともに、生徒のボランティア精神の涵養を図る。</p>	

## 1 主な活動実践とその記録

### (1) お手紙による文通を通じた交流 (平成28年5月、9月、10月、11月、3月に実施)

平成24年度から始まったお手紙による交流活動は、今年で5年目を迎えた。行事の前後などに、有志の生徒たちがお手紙を書いた。直接お会いして交流活動を行ってきたことで、これまでよりも相手の方を思いながら文面を考える生徒が多く見られた。

### (2) ビデオレター (平成28年9月に実施)

仮設住宅の方々を文化祭へ招待するにあたり、準備の様子などをまとめたビデオレターを、内田地区、蟹田地区の仮設住宅にそれぞれ送らせていただいた。クラスごとの合唱曲に対する思いや、係活動の様子などについて伝えることができた。



### (3) 文化祭へ仮設住宅の方々を招待 (平成28年10月29日に実施)

平成28年10月29日(土)に行われた、文化祭の合唱コンクールへ石巻蟹田・内田地区仮設住宅の方々19名を招待することができた。午前中は、3年生の“太鼓”や“昔語り”などを見ていただいた。昼食は、訪問していただいた方々から、各クラスへ分かれて入っていただき、生徒と共にお弁当を食べてもらった。午後からは合唱コンクールを聞いていただいた。自治会長さんからステージでごあいさつを頂戴した。話を聞いた生徒たちは、自分たちの合唱を聞いて喜んでいただけたことに達成感をいだている様子であった。最後に全員で集合写真を取り、思い出の1ページを作ることができた。



### (4) 石巻蟹田・内田地区仮設住宅訪問 (平成28年11月26日に実施)

約50世帯の仮設住宅の方々へ、町特産のりんごを届けるため募金活動を行った。訪問希望者を募り、今年も約40名の生徒が直接訪問してりんごを手渡し、合唱なども披露した。昼食は仮設住宅の方々が準備をしてくださり、海の幸を笑顔で交流しながら味わった。今年も仮設住宅の方々が合唱のお返しにと民謡を披露してくださった。交流会の最後には、生徒と仮設住宅の方々とで、手をつないで一緒に歌を歌い、温かい雰囲気交流会となった。



## 2 実践による成果

これまでの5年間におよぶ交流活動により、生徒は「自分たちにもできることはある」という実感を得ている。毎年、石巻の仮設住宅と女川町を訪問させていただき、復興が進んでいることを実感しつつも、まだ仮設住宅で生活している方々がたくさんいるという現実を肌で感じている。「あの日のことを忘れていません」というメッセージを喜んでくださる方々を目の当たりにし、被災された方々に思いを馳せ、自分にできることは何か、さらに深く考える生徒の変容が見られた。